

圖根測量ヲ施行スルニハ先ツ其土地ヲ踏査シ圖根點ノ位置ヲ撰定ス一等圖根點ハ一方里約二個ニシテ其相互ノ距離中數千六百四十間トシ二等圖根點ハ一方里約三十二個ニシテ其相互ノ距離中數四百間トス各點ハ之ヲ連結スレハ三角形ヲ成シ互ニ視視シ得ヘキ展眸開測ナル地點ニ在ルヲ要シ其位置ニハ地上ニ埋石シテ之ヲ標示シ且他點ヨリノ規準ニ供スル爲メ高ク標識ヲ建設スヘキモノトス

純正數學三角法ノ規約ニ依レハ三角形ノ一邊及二角ヲ知ルトキハ他ノ二邊及一角ヲ算定シ得ヘキモノトス故ニ三角法ニ基テ測量ニ於テハ一個ノ既知邊ヲ求ムルヲ要ス是ヲ以テ開測平坦ナル土地ヲ撰定シ二個圖根點間ノ距離ヲ測量器械ニ依リ實測ス之ヲ基線ト云フ

各圖根點相互ノ距離即チ三角形ノ各邊ハ基線ヲ既知一邊ト爲シタル三角形ニ於テ各角ヲ測量器械ニ依リ觀測シタル方向角ヨリ求メ以テ之ヲ算定シ次キニ算定ニ依リテ得タル邊長ヲ既知一邊ト爲シタル三角形ニ於テ各角ヲ求メ他ノ二邊ヲ算定スルノ方法ニ依リ基線ヨリ起リ連接三角形ヲ以テ廣表面ニ擴充シタルトキハ更ニ他ノ實測セル邊長ニ到達シテ其應合ヲ照査シタル後之ヲ決定ス

圖根點ノ位置ハ各測量區域ノ中央ニ通スル子午線ヲ縱軸トシ之ト直交スル線ヲ橫軸トスル所ノ縱橫線長ニ依リテ之ヲ表示スルモノニシテ子午線ハ極星觀測ヲ施行シテ之ヲ決定シ縱橫線長ハ圖根點相互ノ距離ト其方向ノ子午線ニ關スル方位角トニ依リ之ヲ算定スルモノトス

測量器械ハ基線測量ニハ鋼裝卷尺ヲ使用シ子午線觀測及方向角測量ニハ六吋轉鏡經緯儀ヲ使用セリ

(乙) 碎部測量

碎部測量ハ碎部圖根測量一筆地測量ノ二作業ニ分チテ施行ス碎部圖根測量ハ土地ノ面積約一方里ヲ一區域ト爲シ區域內及其附近ニ存スル圖根點間ニ碎部圖根點ヲ配置シ一等圖根點及二等圖根點ニ基準シテ其位置ヲ決定シ一筆地測量ハ土地ノ一字ヲ一區域トナシ區域內及其附近ニ存スル圖根點及碎部圖根點ニ基準シ一筆地ノ形狀面積及其關係位置ヲ測定スルモノトス

圖根測量ニ於テ設定シタル圖根點ハ約四百間ヲ隔テ之ニ幅員二三十間ニ過キサル一筆地ヲ依託セントスルニハ尙稀疎ニシテ作業頗ル迂遠ナリ然ルニ圖根點ノ間隔ヲ短縮スルトキハ三角測量法ニ依リ測量ヲ施行スルニ便ナラス故ニ他ノ方法ニ依リ圖根點間ニ若干ノ圖根點ヲ補設スルノ必要ヲ生ス碎部圖根測量ハ此必要ニ應スルカ爲ニ施行スルモノニシテ其圖根點ハ村界字界若クハ主要ナル道路ニ配置シ各點相互ノ距離ヲ五十間乃至百二十間トシ地上ニ埋石シテ之ヲ標示ス

碎部圖根點ノ位置ハ經緯道線測量法ニ依リ決定ス經緯道線測量法トハ地上ニ設置シタル諸點ヲ連結シテ多角線ヲ成サシメ其各角及距離ヲ實測シテ各點ノ縱橫線長ヲ算定スルモノニシテ碎部圖根測量ニ在リテハ一等圖根點若クハ二等圖根點ヨリ起リテ碎部圖根點ヲ連結シ他ノ一等圖根點若クハ二等圖根點ニ到リテ其應合ヲ照査シ之ヲ決定ス

碎部圖根點ノ位置ハ其測量區域ノ中央ヲ原點トシテ改算シタル圖根點ノ縱橫線長ニ基準シタル所ノ縱橫線長ニ依リテ之ヲ表示ス

測量器械ハ距離測量ニハ測鎖ヲ使用シ角測量ニハ四吋轉鏡經緯儀ヲ使用シ各點ノ位置ヲ標識スルニハ標桿ヲ使用セリ



一筆地測量ハ測板測量法ニ依リテ施行ス測板測量法トハ圖紙ヲ貼附シタル測板ヲ實地ニ携帶シ羅針ニ依リ方位ヲ正シ其圖紙上ニ地上諸點ノ位置ヲ幾何的ニ圖示シ諸點ノ成セル形狀ヲ測定スルモノニシテ先ツ圖根點及碎部圖根點ノ縱橫線長ニ依リ其位置ヲ圖紙上ニ展開シタル測板ヲ使用シ地上ニ於ケル圖根點ノ位置ト圖上ニ於ケル圖根點ノ位置トヲ對照シテ羅針ノ方位ヲ定メ次に圖根點ヨリ一筆地ノ各隅角點ヲ視準シ其距離ヲ測量シテ圖上ニ之ヲ載セ終リニ地上ニ於ケル一筆地ノ周邊ト圖上ニ於ケル其圖形ノ周邊トヲ照査シテ之ヲ決定ス

斯ノ如ク連續シテ各筆地ヲ測量スルトキハ一筆地ノ位置形狀ハ圖上ニ明示セラル、モノニシテ此實測ニ依リ得タル圖面ヲ一筆地原圖ト云フ

測板測量ニ於テ地上ノ距離ト圖上ノ距離トノ比例尺ハ必要ノ程度ニ應シ之ヲ定ムルモノニシテ通常千二百分一ノ尺ヲ用ヒ市街宅地ハ六百分一ノ尺ヲ用フルヲ例トス但幅員小ナル耕地墓地等ニアリテハ六百分一若クハ三百分一ノ尺ヲ用ヒ廣袤大ナル山林原野等ハ六百分一ノ尺ヲ用フルコトアリ

一筆地測量ニ於テ地形及必要上測板測量法ニ依ラスシテ三斜式測量法ニ依ルコトアリ三斜式測量法トハ單ニ距離測量ノミヲ施行スルモノニシテ其結果ニ依リ一筆地原圖上相當ノ位置ニ其圖形ヲ構成ス三斜式測量法ヲ施行スルニハ一筆地界ノ各隅角點ヲ標示シ其周邊三角形ニ區分スル斜線及證線トナルヘキ他ノ斜線ヲ實測シ以テ圖形ヲ構成シ其正確ナルコトヲ證明シ得ヘキ材料ヲ充足ス

一筆地測量ニ於ケル距離ハ通常間ノ十分一マテヲ測定シ市街宅地ニ在リテハ間ノ二十分一マテ

ヲ測定セリ

一筆地ノ面積ハ通常歩位ニ止メ市街宅地ニ在リテハ坪ノ百分一ヲ算定セリ其面積ヲ算定スルニハ從來ノ所謂三斜法ニ依ル即チ一筆地原圖上ニ一筆地ノ位置形狀ヲ決定シタルトキハ之ヲ數多ノ三角形ニ區分シ毎三角形ニ一個ノ垂線ヲ定ム一筆地ノ面積ハ區分三角形ノ總面積ニシテ區分三角形ノ面積ハ底邊ノ長ニ垂線ノ長ヲ乘シ二除シタルモノトス但運算ノ便宜上各乘積ノ和ヲ二除スルヲ例トセリ其廣袤大ナル山林原野等ニ在リテハ面積測定器ヲ使用シ其面積ヲ測算セリ面積測定器ハ圖上ノ面積ヲ測定スル器械ニシテ之ヲ一筆地原圖上ニ備ヘ測定セントスル一筆地界ニ沿ヒ器械ヲ運行セシムルトキハ之ニ伴ヒ廻轉スル計輪ニ依リ其面積ヲ讀算シ得ルモノトス一筆地測量ヲ施行シタルトキハ一區域即チ一字毎ニ一筆地面積測量簿ヲ調製シ各長程及面積ノ計算ヲ載スルモノトス

測量器械ハ距離測量ニハ測鎖若クハ竹製長尺ヲ使用シ測板測量ニハ測板羅針照準儀ヲ使用シ各點ノ位置ヲ標識スルニハ標桿若クハ旗桿ヲ使用セリ

(丙) 製圖

製圖作業ハ謄寫及縮寫ノ二トシ圖面ハ字圖及村圖若クハ區圖ノ二トス字圖ハ一筆地原圖ヲ輯合謄寫シテ之ヲ調製シ村圖若クハ區圖ハ字圖ヲ輯合縮寫シテ之ヲ調製ス字圖ハ千二百分一ノ尺ヲ用フルヲ例トシ原圖ニ六百分一ノ尺ヲ用ヒタルモノアルトキハ六百分一ノ尺ヲ用ヒ全字圖ヲ調製シ別ニ千二百分一ノ尺ヲ用ヒ部分圖ヲ調製シ村圖若クハ區圖ハ六百分一ノ尺ヲ用ヒ之ヲ調製ス



字圖村圖ニ載スルモノハ左ノ如シ

字圖 圖根點 境界 一筆地界 道路、河川、溝渠、堤塘、海岸線

村圖 圖根點 境界 宅地、耕地、不耕地ノ概形 道路、河川、海岸線

字圖ニ在リテハ河川、溝渠、海岸ノ水部ヲ藍ノ淡色ヲ用ヒ、渲彩スルノ外、彩色ヲ施サス村圖若クハ區圖ニ在リテハ道路ハ赭黃ノ中色、宅地ハ赭黃ノ淡色、不耕地ハ赭綠ノ淡色、堤塘ハ黒ノ淡色、水部ハ藍ノ淡色ヲ用ヒ、渲彩シテ之ヲ識別シ易カラシム

縮圖ヲナスニハ縮圖器械ニ依リテ行フヲ常トシ、稀レニ幾何的縮圖法ニ依ルコトアリ

二 土地測量ノ成果

今碎部測量ニ依リ測定シタル各筆地段別ノ細目ヲ表示セハ左ノ如シ

第一號 沖繩縣各種地目別段別表

區分	地目	那覇區	首里區	島尻郡	中頭郡	國頭郡	宮古郡	八重山郡	計
民	田	6,977	1,171	1,570	2,600	2,655	2,605	2,777	8,990
	畑	10,773	5,804	12,607	13,949	11,593	13,321	3,930	54,907
有	郡村宅地	26,074	10,950	17,057	7,777	7,777	24,572	24,400	128,707
	市街宅地	3,782	—	—	—	—	—	—	3,782
計		48,616	17,925	31,234	42,326	32,025	48,474	43,107	264,307

地目	有		租		免		租		小計
	面積	筆數	面積	筆數	面積	筆數	面積	筆數	
鹽田	26,676	1	—	—	—	—	—	—	26,676
池沼	5,330	1	1,850	6	—	—	—	—	5,330
山林	15,750	1	22,325	3	36,945	2	36,876	3	54,396
牧場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
原野	7,760	1	3,909	5	5,319	2	6,009	7	13,678
雜種地	2,605	1	2,311	1	10,955	1	5,979	1	10,955
小計	52,821	5	44,999	11	84,865	6	82,864	10	131,864
公學校地	2,777	1	2,632	1	—	—	—	—	2,777
公墓地	1,700	1	1,481	1	—	—	—	—	1,700
墳墓池	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溜池	—	—	—	—	—	—	—	—	—
間切島役	—	—	—	—	—	—	—	—	—
場敷地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寺地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
拜所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公園地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新開地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	1,777	1	8,268	1	5,919	1	3,782	1	19,747
計	54,598	10	53,267	12	90,784	7	86,646	11	151,611







ヲ順序トス而シテ其各筆ニ對シテ地位ノ等級ヲ付スルニ當リテハ各其實地ヲ踏査スルヲ要ス即チ地價ノ査定ニハ(一)收穫ノ調査(二)地位等級ノ査定(三)地押調査ノ準備行為ヲ經サルヘカラス以下順次之ヲ概説セン

一 收穫ノ調査

收穫ノ調査ハ主トシテ耕地即チ田畑ノ二地目ニ對シテ之ヲ行ヘリ

抑耕地ノ收穫ハ單ニ其土地ノ産出力如何ニノミ因ルモノニアラスシテ肥料ノ投施如何及鋤犁ノ勞力如何ニヨリ大ニ其結果ヲ異ニスルヲ以テ各筆地ノ有スル産出力ハ精確ニ之ヲ量定スルコトハ到底困難ナル事體ナリト云ハサルヘカラス故ニ之ヲ各村ニ涉リ之ヲ各筆地ニ施シテ一々其收穫ヲ調査スルカ如キハ其方法ノ得タルモノニアラスシテ之ヲ或特定ノ土地ニ施シ施肥耕耘ノ如何ニ顧ミ之ヲ年ノ豊凶ニ參酌シテ大體ニ於ケル收穫ノ額ヲ知了シ之ヲ他ノ各筆ノ類地ニ推及スルノ資料ニ供スルヲ得ルニ止メサルヘカラス

即チ本局ニ於テハ各間切ニ就キ上中下三等ノ村ヲ指定シ其各等ノ村内ニ於テ更ニ又上中下三等ノ土地ヲ撰定シ年々同一ノ土地ニ就キ坪蒔試験ノ方法ニ依リ其收穫ヲ調査シタリ其規定左ノ如シ

收穫調査手續 (抄録)

第一條 收穫ハ米、粟、大豆、大麥、裸麥、小麥、甘藷及甘蔗ノ各種ニ就キ調査スルモノトス

第二條 收穫調査ハ實地ニ就キ坪蒔試ヲ以テ之ヲ爲スモノトス但收穫ノ時季ニアラサル場合ニ於テモ作付人其他農事ニ經驗アル者ニ就キ坪蒔調査スルコトアルヘシ

第三條 收穫實地調査ヲ爲スニハ先ツ間切村吏員及村内重立タル者ニ就キ地位等級ノ區分ヲ

調査シ實驗スヘキ土地ヲ撰定スルモノトス

地位ハ上中下ノ三等ヲ撰フモノトス

土地ノ肥瘠水利ノ便否肥料ノ多寡其他ノ狀況ニ依リ吏員等ノ申立ニ憑リ難シト思料スル場合ハ調査員ニ於テ土地ヲ指定スルモノトス

第四條 撰定セシ土地ノ一區域中土地ノ肥瘠作物ノ不同アル場合ニハ其最モ平衡ヲ得タル部分ヲ撰擇スルモノトス

第五條 收穫實地調査ハ間切村吏員及重立タル者ノ立會ヲ需メ且作主ノ承諾ヲ得テ著手スルモノトス但作主不在ノ場合ニハ立會人ノ承認ヲ求ムルモノトス

第六條 收穫實地調査ハ每等三箇所以下ニ就キ一箇所一坪乃至六坪ノ坪蒔ヲ爲スモノトス

第七條 坪蒔試ハ作物ノ生立地ト畝トノ分界ヲ正シ凡ソ棒ノ二方ハ其内部ニ作物ヲ附著セシムルモノトス

第八條 乾減ハ作物ノ種類熱否等ニ依リ各種差異アルヘキニ依リ宜シク其實況ニ依リ斟酌シ歩合ヲ定ムルモノトス

第九條 收穫調査ハ毎年同一ノ場所ニ就クモノトス

同一場所ニ於ケル作物ニシテ前年ト其作物ノ種類ヲ異ニスルカ又ハ其他ノ狀況ニ依リ同一作物ノ收穫ヲ調査スルコト能ハサル場合ニハ其類似ノ土地ヲ撰定スルモノトス

第十條 收穫調査ノ際其土地自作小作ノ區分ヲ調査スルモノトス小作地ナルトキハ其叶米自作地ナルトキハ相當叶米ヲ調査スルモノトス



現在ノ叶米カ或ル事故ノ爲メ其當ヲ得スト思料スル場合ニハ其相當額ヲ調査スルモノトス

第十一條 甘蔗ハ製成セシ黒糖ノ升量ニ憑リ可成適實ノ方法ヲ以テ調査スルモノトス

第十二條 山林原野ハ便宜適切ノ方法ヲ以テ其收穫ヲ調査スルモノトス

第十三條 宅地ハ最近賣買價格及叶米金額ヲ調査スルモノトス

第十四條 收穫調査ノ際各種作物ノ作付習慣種子肥料代其他耕作ノ費用及作主ノ所得ヲ調査

スルモノトス

(其他略之)

二 地位等級ノ詮定

地位ノ等級ハ直接ニ地價額ヲ算出スルノ根據ニシテ其等級ノ差異ハ地價額ノ差違ヲ來シ其等級ノ詮定如何ハ直ニ地價額ノ權衡如何ニ關ス而シテ一村内ニ於ケル各筆ノ地位必シモ同一ナラサルカ如ク各村乃至各郡ニ於ケル各筆ノ地位モ亦各差等アルヲ常トスルヲ以テ單ニ一村内ニ於ケル各筆地ニ對シ地位ノ等級ヲ付スルニ止マリ村ト村ノ間間切ト間切ノ間乃至郡ト郡ノ間ニ於ケル地位ノ如何ヲ顧ミスルハ遂ニ全管ニ於ケル地價ノ權衡ヲ失フニ至ルヤ明瞭ナル事理ト云フヘシ故ニ各村ニ於ケル各筆地ニ對シ地位ノ等級ヲ附スルノ前ニ於テ豫メ村位以上ノ等級ヲ確定シ以テ全區劃ニ於ケル地位ノ權衡ヲ量定シ之ヲ統率スル所アルヲ要ス而シテ本縣ハ全管僅ニ五郡ニ過キサレヲ以テ特ニ郡位ヲ定メス郡ノ下ニ於ケル間切位及村位ノ等級ヲ詮定スルニ止メタリ間切位ノ等級ハ一郡内ニ於ケル各間切ノ土地ニ就キ各其最上位ノ範圍ニ屬スヘキモノヲ撰定シ田畑ニ在リテハ其土壤ノ良否地味ノ肥瘠宅地ニ在リテハ地方繁榮ノ程度等ヲ踏查觀察スルト共

ニ耕耘ノ難易交通ノ便否被害ノ有無餘業ノ潤否等尙モ地價ノ査定ニ關係ヲ及ホスヘキ事項ハ悉ク之ヲ調査シテ彼此對照シ交互酌量シ之ヲ二等ニ分ツ

村位ノ等級ハ一問切内ニ於ケル各村ノ土地ニ就キ各村毎ニ大體間切位ノ等級詮定ノ方法ニ準シ其村ノ屬スル間切位ノ等級ニ鑑ミ其實況ニ應シテ之ヲ二等乃至四等ニ分ツ

以上ノ方法ニ依リ田畑宅地ノ各地目別ニ間切位村位ノ等級ヲ調査シタル後島廳郡役所ノ意見ヲ參酌シテ間切位及村位ノ諮詢案ヲ製シ一問切毎ニ間切長勸業委員村頭及各村地主總代等ヲ會シテ之ヲ諮詢シ其當否ヲ審議セシメ取捨採擇シテ之ヲ確定セリ

各筆地地位等級ハ地押調査ニ於テ地押調査員ヲシテ村頭及地主總代等ヲ實地ニ立會シ諮詢考定シテ之ヲ付セシム而シテ之カ付等ヲ各地押調査員ノ區々ノ詮定ニ一任センカ各級ニ屬スヘキ土地ノ範圍一定セサルノミナラス他ノ同間切位同村位ニ於ケル各筆地地位等級ニ對スル平衡ヲ得サルニ至ルヘキヲ以テ亦豫メ之ヲ牽束スル所ナカルヘカラス即チ村位ノ等級詮定ノ根據タル其村最上位ノ範圍ニ屬スヘキ土地ハ各筆地地位等級ノ詮定ニ就キテモ亦一等地タルノ範圍ニ屬スヘキニ依リ之ヲ各地押調査員ニ指示スルト共ニ點々各等ニ屬スヘキ土地ヲ撰擇シ延ヒテ其村數ヲ限定シ之ニ準據シテ村内各筆地ニ及サシムルノ方法ヲ採レリ

之ヲ要スルニ以上ノ方法ハ間切位及村位ノ等級ニヨリ各間切各村間ニ於ケル地位等級ノ權衡ヲ計リ各筆地地位等級ヨリ其村内各筆地地位ノ平衡ヲ計ルト共ニ同間切位同村位ニ屬スル他ノ各筆地ニ對スル地位等級ノ平衡ヲ計ラントスルニ存ス故ニ間切位ヤ云ヒ村位ト云フモ之ヲ一般改租



當時ニ於ケル者ニ比スレハ其目的及方法ヲ異ニシ其名相等シキカ如キモ其實大ニ異ナル者トス  
田畑宅地以外ノ地目ニ對スル地位等級モ亦大體以上ノ方法ニ準シ之ヲ詮定セリ  
以上等級ノ詮定ニ關スル規定左ノ如シ

地位等級詮定手續 (抄録)

第一條 間切ヲ異ニシ若クハ村ヲ異ニセル各地目毎筆地ニ付スヘキ等級ヲシテ相互ノ平衡ヲ  
得セシムルノ基準トシテ間切位及村位ノ等級ヲ詮定スルモノトス

間切位及村位ノ等級ハ郡別ニ之ヲ詮定スルモノトス

第二條 間切ノ等級ハ村位ノ等級詮定以前ニ村位ノ等級ハ每筆地ノ等級ヲ付スル以前ニ之ヲ  
詮定スルモノトス

第三條 間切位及村位ノ等級詮定ニ先チ左ノ方法ニ依リ假リニ各村ニ於ケル田畑各一段歩當  
收穫高ヲ定ム

一 收穫調査指定村ニ在テハ實地ニ就キ收穫調査實績ノ適否ヲ考量シテ最高最低額ヲ定  
ムルコト

二 收穫調査指定以外ノ各村ニ在テハ實地ニ就キ前號ニ依リ定メタル收穫高ニ比準シテ  
最高最低額ヲ定ムルコト

三 前二號ニ依リ收穫ノ最低額ヲ定ムルニ方リ同地目中負カニ劣等ナルモノアルトキハ  
之ヲ除外スルコト

四 村頭及地主總代ニ諮詢シテ收穫高ヲ申立テシメ之ヲ參酌スルコト

第四條 間切位及村位ノ等級ハ田畑及宅地ノ各地目別ニ之ヲ詮定スルモノトス

前項間切位及村位ノ等級ハ田畑ニ在テハ前條ニ依リ定メタル收穫ノ最高額ニ對シ運輸交通  
ノ便否其他特殊ノ事情ヲ斟酌シ宅地ニ在テハ其隣地ニ於ケル田畑ノ收穫高ニ比準シ地方繁  
榮ノ程度ヲ照合シテ之ヲ詮定シ及毎等級ニ對スル石量ヲ定ム其差額ハ各一斗トス

第五條 間切位ノ等級ハ各間切長勸業委員及各村地主總代ニ村位ノ等級ハ當該間切長各村村  
頭及地主總代ニ諮詢シテ之ヲ詮定スルモノトス

間切位ノ等級詮定ニ關シテハ當該島司郡長ノ意見ヲ求ムルモノトス

第六條 間切位ノ等級ヲ詮定シタルトキハ別紙第一號様式ニ依リ各間切長勸業委員及各村地  
主總代ヲシテ之ニ承印セシメ村位ノ等級ヲ詮定シタルトキハ別紙第二號様式ニ依リ當該間  
切長各村村頭及地主總代ヲシテ之ニ承印セシムヘシ

第七條 每筆地ニ付スヘキ等級ハ第三條ニ依リ假リニ定メタル收穫ノ最高最低額ヲ第四條ニ  
依リ定メタル間切位及村位ノ等級ニ從ヒ校定シ其範圍内ニ於テ之ヲ定メ及毎等級ニ對スル  
收穫物ノ石量ヲ定ム其差額ハ一斗五升トス但シ收穫ヲ校定シタル場合ニ於テ同地目中負カ  
ニ劣等ナルモノアルトキハ之ヲ除外スルモノトス

宅地ニ在テハ其地方繁榮ノ狀況ニ應シテ每筆地ニ付スヘキ等級ヲ定メ及第四條ニ依リ定メ  
タル石量ヲ以テ之レカ最高額トシ以下遞減シテ毎等級ニ對スル石量ヲ定ム其差額ハ一斗トス

第八條 第三條及第七條第一項但書ニ依リ除外セラレタル每筆地ニ對シテハ第七條第一項ニ  
依リ定メタル石量ノ最低額以下ニ於テ地押ノ際適宜石量ヲ定ム



前項ノ場合ニ於テ若シ等級ヲ設クルノ必要アルトキハ實地ノ狀況ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ  
得其每等級ニ對スル石量ハ前項ニ同シ

第九條 田畑及宅地以外ノ地目ニ於ケル毎筆地ニ付スヘキ等級ハ田畑毎筆地ニ付スヘキ等級  
ニ比準シテ之ヲ定ム

第十條 每筆地ノ等級ハ地押ノ際之ヲ決定スルモノトス

每筆地ノ等級ハ第七條乃至第九條ニ依リ定メタル等級石量ヲ標準トシ村頭及地主總代ノ意  
見ヲ諮詢シテ之ヲ決定スルモノトス

第十一條 一村內每筆地ノ等級ヲ決定シタルトキハ村頭及地主總代ヲシテ土地一筆限帳ニ承  
印セシムヘシ

(續式略之)

夫レ斯ノ如ク地位等級ノ決定ハ比較的精密ノ方法ヲ規畫シ遺漏ナカラシムコトヲ期シタリト雖其  
各筆地等級ノ決定ハ筆數ノ夥多ナル時ニ或ハ調査ノ錯誤ナキヲ保スルヲ得ス又間切位村位ノ詮  
定ニ在リテモ爾後各筆地地位等級ノ決定等ニ關シ益其村ノ踏査ヲ緻密ナラシメタルノ結果或ハ  
權衡ヲ失スルモノアルヲ發見スルニ至リ更ニ主務者ヲ特派シテ之ヲ精査セシメ其錯誤ヲ正シ權  
衡ヲ計リ以テ全體ニ於ケル等級ノ確定ヲ見ルニ至レリ

### 三 地押調査

地押調査ハ各筆地ニ對シ地番地目ヲ付シ地位等級ヲ決定シ境界ヲ正シ所有主ヲ調査シテ一筆限

帳ヲ調製スル等要スルニ地價査定ノ準備ヲ爲スニ外ナラス地押調査員ハ書記若クハ助手一名ト  
シ附屬員トシテ助手若クハ雇員一名以上ヲ置キ之ヲ一組トシ數組ノ上ニ調査主任一名ヲ置キ書  
記ヲ以テ之ニ尤テ事業ノ進捗統一ヲ圖ラシム

地押調査ノ事項中各筆地地位等級ノ決定ハ事最モ困難ニシテ又最モ重要ナルモノニ屬ス而シテ  
各筆地地位等級ノ準據ハ一々之ヲ指示セリト雖若シ夫レ各調査主任若クハ調査員ニシテ尙ホ其  
決定ノ程度ヲ異ニセンカ到底自他ノ權衡ヲ得ル能ハサルヲ以テ各調査主任ヲシテ其各自擔當區  
域內ニ於ケル調査員ノ調査ヲ指揮統一セシメ殊ニ甲乙隣接セル調査員ヲ實地ニ立會シ大體其隣  
接地境ニ在ル土地ノ等級ヲ決定シテ各其内部ニ推及セシメ將タ各調査主任ノ擔當區域ニ隣接セ  
ル土地ニ就テハ關係各調査主任實地ニ立會シテ其等級ヲ協定シ以テ全管等級決定ノ平準ヲ計ラ  
シメタリ而シテ一方ニ於テハ絶ヘス監督員ヲ派シ主トシテ等級ノ決定ニ關スル狀況ヲ監査セシ  
メタリ

各筆地地位等級ノ決定ニ際シ地主總代等ヲ實地ニ立會セシメ之レカ當否ヲ諮詢スルニ方リ往々  
低位ノ答申ヲナシ以テ付等ヲ低カラシメントスルモノアリ甚シキハ則チ其答申ノ全然採用セラ  
レサルノ故ヲ以テ立會ヲ拒ムモノアルニ至レリ然レトモ各調査主任若クハ監督員ニ於テ其諮詢  
ヲナスハ調査ノ適正ヲ期スルニ在ルヲ以テ徒ラニ不當ノ答申ヲ爲スカ如キハ却テ之レカ趣旨ニ  
反スコト及立會ヲナサ、ルニ於テハ調査ノ錯誤ヲ永遠ニ遺スヘキコト等反覆旨趣利害ヲ説明シ  
漸ク會得スルニ至リ遂ニ全部甚シキ紛擾ヲ見スシテ適當ナル決定ヲ了スルヲ得タリ  
地押調査及其監督ニ關スル規程左ノ如シ



地押調査手續

- 第一條 每筆ノ地目境界等級所有主等ヲ調査スル爲メ地押ヲ爲スモノトス
- 第二條 地押ハ字界村界等ヲ正シタル上著手スルモノトス
- 第三條 地押調査ハ各擔當區ヲ指定シ調査主任一名調査員若干名ヲシテ之ニ從事セシム但必要アルトキハ調査員ニ對シ助手又ハ雇ヲ附屬セシムルコトアルヘシ
- 調査主任ハ其擔當區域内ニ於ケル調査員及其附屬員ヲ監督シ事業統一進捗ヲ圖リ調査全體ノ責ニ任スルモノトス
- 調査員ハ調査主任ト協定シ又ハ其指示ニ從ヒ地押調査ニ從事シ事業擧否ノ責ニ任スル者トス
- 調査員ニ附屬スル助手又ハ雇ハ地押調査事務ヲ補助スルモノトス
- 第四條 地押調査ヲナスニハ地主總代ヲシテ實地ニ立會ハシメ諸般ノ諮詢ニ應セシムル者トス
- 第五條 地押ニ先チ標杭建設ヲ必要トスルトキハ郡區役所島廳間切村吏等ニ協議シ建設セシムルモノトス
- 第六條 土地ノ境界等ニ關シ爭論アルヘキハ庶務課出張員郡區役所島廳間切村吏員等ト協議シ可成雙方ノ調和ヲ謀リ穩便ノ處置ヲナスコトニ努ムルモノトス
- 第七條 少歩數ノ土地ニシテ連接セルモノハ一筆トシ調査スルモノトス此場合ニ於テ若シ所有者ヲ異ニスルモノハ可成交換ヲ勸誘スルモノトス
- 第八條 地押ノ際別紙第一號様式ニ依リ見取圖及字別村圖ヲ調製スルモノトス
- 第九條 見取圖ハ鉛筆ヲ以テ畫キ置キ即夜若クハ雨天ノ日ニ之ヲ整理スルモノトス

第十條 調査員全村ノ見取圖調製ヲ了シタルトキハ字別村圖ト共ニ即日之ヲ調査主任ニ送付スルモノトス但全村完了前ニ於テ第十一條ノ調査ヲ爲ス場合ハ直チニ之ヲ當該擔任者ニ引續クモノトス

第十一條 調査主任ハ事業進捗ノ狀況ニ應シ適當ノ時機ヲ計リ自己ニ於テ若クハ調査員ヲ指定シテ再地押ヲ爲シ見取圖ノ適否誤脱ノ有無ヲ調査シ及每筆地ニ等級ヲ付シ之ヲ見取圖ニ記入スルモノトス

第十二條 前條ノ調査ヲ了シタルトキハ當該擔任者ニ於テ一村ヲ通シテ地番ヲ付スルモノトス

飛地ハ其所在村ニ於ケル地番ヲ付スルモノトス

第十三條 再地押ヲ了シ地番ヲ付シタルトキハ當該擔任者ニ於テ別紙第二號様式ニ依リ土地一筆限帳及第四號様式ニ依リ地押調査概況報告書ヲ調製スルモノトス

第十四條 見取圖字別村圖土地一筆限帳及地押調査概況報告書ハ一箇村分完結ノ上調査主任ニ於テ取纏メ本局ニ送付スヘシ

見取圖及字別村圖ハ之ヲ編綴シ其表紙ニ郡間切村名完結年月日及從事者ノ官氏名ヲ記シ捺印スルモノトス

第十五條 地押調査ノ課程ハ一日平均雨天共第八條ノ場合ニ於テハ百三十筆以上第十一條ノ場合ニ於テハ三百筆以上トス但每筆ノ區域廣濶ニシテ地押困難ノ箇所ハ此限ニアラス

第十六條 事ノ疑義ニ涉ルモノハ監督員ノ指示ヲ受ケテ之ヲ處理スヘシ



第十七條

地押調査ノ成績ハ當該擔任者ニ於テ上半箇月分ヲ其月十六日迄ニ下半月分ヲ翌月一日迄ニ別紙三號様式ニ依リ調査主任ヲ經テ報告スヘシ  
(様式略ス)

地押調査監督員心得

第一條 監督員ハ其擔當區域内ニ於ケル地押調査事業ノ統一ヲ圖リ其進歩成績ノ責ニ任スルモノトス

第二條 地押調査ニ關シ監督ヲ爲スヘキ事項左ノ如シ

- 一 調査ハ關係諸規程ニ適合セルヤ
  - 二 調査ノ程度其中正ヲ失スルコトナキヤ
  - 三 事業進捗ノ狀況
  - 四 見取圖及土地一筆限帳整理ノ狀況
  - 五 村界字界及一筆地境界ノ調査ハ周到ナリヤ
  - 六 見取圖ノ方位形狀及地目ハ實地ニ適合セルヤ
  - 七 地番ノ配付ハ適當ナリヤ
  - 八 每筆地等級ノ詮定ハ適當ナルヤ
  - 九 脱落若クハ重複ノ土地ナキヤ
  - 十 土地一筆限帳ハ地番數等見取圖ト符合シ住所氏名ニ誤謬ナキヤ
- 第三條 地押調査ニ關シ視察ヲ爲スヘキ事項左ノ如シ

一 地押調査及地押調査員ニ對スル地主及人民ノ感想

二 地主總代ノ地押調査員ニ對スル應答ノ狀況

三 地押調査員ノ郡區役所島廳及間切役場村事務所ノ吏員ニ對スル交渉及人民ニ對スル應接ノ狀況

四 間切位村位ノ詮定ハ公平ヲ失スルコトナキヤ

五 地押調査衛生上注意ノ狀況

六 前各號ノ外監督員ニ於テ必要ト認メタル事項

第四條 監督員ハ時々手帳ヲ査閲シ適宜ノ場所ニ月日ヲ記シ認印ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ著シク事業ノ遲滯セルモノアリト認ムルトキハ其事由ニ依リ懇切ニ相當ノ注意ヲ與フヘシ

第五條 地押調査員ヨリ調査ニ關シ指示ヲ求メタルトキ若クハ監督上必要ト認メタルトキハ意見ヲ示シテ懇切ニ之ヲ指導スヘシ

第六條 監督員ニ於テ事體重大ナリト認ムルモノアルトキハ其事實竝ニ意見ヲ具シ指揮ヲ請フヘシ但急迫ノ場合ニ在リテハ慎重ニ處理シ直ニ之ヲ報告スヘシ

第七條 監督員ハ事業進捗緩急ニ應ジ擔當區域ノ調査ヲ完結シタル組合員ヲシテ他ノ組合員ヲ補助セシムルコトヲ得

第八條 監督員ハ日誌ヲ作り詳細ニ諸般ノ事項ヲ記載シ歸局ノ際復命書ニ添付シ差出スヘシ但臨時必要ト認ムル事項ハ其都度之ヲ報告スヘシ



四 地價ノ決定

一般改租當時ニ於ケル地價ノ決定ハ收穫穀價及利率ノ三要素ニ依リテ之ヲ算定セラレタリ本縣地價ノ決定ニ關シ沖繩縣土地整理法ノ規定スル所亦左ノ如シ

第二十條 此ノ法律ニ依リ民有トナリタル土地便宜區劃シテ地盤ヲ丈量シ毎筆其ノ品位等級ヲ認定シ所得ヲ審査シ其ノ土地ノ情況ニ應シテ地價ヲ定ム

ト印チ所得ヲ審査スルニハ收穫及穀價等ニ依ラサルヘカラサルヲ以テ本縣地價決定ノ要素モ亦一般改租當時ニ於ケルモノト異ラサルヲ知ルヘシ

然ルニ本縣ハ由來一定ノ市場ナク從テ公定相場ノ據ルヘキモノナキヲ以テ穀價ノ決定ニ關シ殆ト取ルヘキノ資料ヲ缺ケリ唯價ニ舊慣制度ニ依リ徵收セル稅品ニ對スル貢納代金ノ指定セラレタルモノアリト雖其決定ノ方法甚タ鹵莽杜撰ニシテ單ニ二三ノ商估ニ就キ一定ノ時期ニ於ケル數日間ノ賣買價格ヲ取リタルモノニ過キササルヲ以テ直ニ之ニ準據スルハ決シテ當ヲ得タルモノニアラス若シ夫レ已ムナクシテ之ニ準據スルトセハ宜シク適當ナル斟酌ヲ施スヲ要ス然レトモ以上ノ外殆ト據ルヘキノ價格ナキヲ以テ其斟酌ヲ施スノ業ハ全ク空漠ニ屬シ一モ根據ナキ料定ニ過キササルニ了ルヘシ且ツ夫レ一方ニ於テハ一般改租ノ業ハ明治七八年ノ交ニ於テ遂行セラレ地價算定ノ要素タル收穫穀價及利率ノ決定ハ勿論當時ノ狀況ニ依リタルモノナルヲ以テ爾來殆ト三十年ヲ經過セル今日ヨリ之ヲ見レハ農業ノ進歩ハ收穫ノ増進ヲ促シ物價ノ騰貴ハ其收得ヲ増加セルヤ蓋シ疑フヘカラサルノ事實ナルヘシ果シテ然ラハ其今日ニ於テ本縣ノ地價ヲ決定スルニ方リ收穫ニ對シテモ將タ又穀價ニ對シテモ宜シク相當ノ參酌低減ヲ施スヘキコトハ均シク

同一稅率ニシテ同一目ニ屬スル課稅ノ標準タル地價ノ決定上正當ナリト云ハサルヘカラス是レ實ニ他府縣ニ於ケル地價ニ對スル權衡上避クヘカラサル所ナリトス夫レ斯ノ如ク一方ニ於テハ穀價ノ決定ニ供スル資料ニ缺クル所アルノミナラス及他方ニ於テハ他府縣ノ地價ニ對スル權衡上收穫穀價ヲ斟酌スルヲ要スルモノアリ二者ノ決定ヲシテ益困難ナラシムルノ事情ヲ存ス故ニ他府縣ニ比準シテ適當ナル地價額ヲ求メ同時ニ本縣現在ニ於ケル收穫穀價等ニ對シ適當ナル參酌ヲ施シタルモノニ依リ其地價額ヲ算出シテ交互對照シ以テ其適正ヲ認メタル上本縣ニ於ケル地價額ヲ決定スルハ實ニ他府縣ニ於ケル地價ニ對スル權衡ヲ計ル所以ノ途タルノミナラス亦以テ本縣ノ實際ニ對スル適正ヲ得ルノ捷徑タルヘキニ依リ遂ニ此方法ニ準據シテ地價額ヲ決定スルニ至レリ

一段步當地價順位表 (其一)

等 級	金 額	等 級	金 額	等 級	金 額	等 級	金 額	等 級	金 額
一 等	三五〇〇〇	十二等	二四〇〇〇	二十三等	一五〇〇〇	三十四等	八五〇〇	四十五等	三〇〇〇
二 等	三四〇〇〇	十三等	二三〇〇〇	二十四等	一四〇〇〇	三十五等	八〇〇〇	四十六等	二五〇〇
三 等	三三〇〇〇	十四等	二二〇〇〇	二十五等	一三〇〇〇	三十六等	七五〇〇	四十七等	二〇〇〇
四 等	三二〇〇〇	十五等	二一〇〇〇	二十六等	一二五〇〇	三十七等	七〇〇〇	四十八等	一八〇〇
五 等	三一〇〇〇	十六等	二〇〇〇〇	二十七等	一二〇〇〇	三十八等	六五〇〇	四十九等	一五〇〇



六等	三〇〇〇〇	十七等	一九〇〇〇	二十八等	一一五〇〇	三十九等	六〇〇〇	五十等	一四〇〇〇
七等	二九〇〇〇	十八等	一八〇〇〇	二十九等	一一〇〇〇	四十等	五五〇〇	五十一等	一三〇〇〇
八等	二八〇〇〇	十九等	一七五〇〇	三十等	一〇五〇〇	四十一等	五〇〇〇	五十二等	一二〇〇〇
九等	二七〇〇〇	二十等	一七〇〇〇	三十一等	一〇〇〇〇	四十二等	四五〇〇	五十三等	一一〇〇〇
十等	二六〇〇〇	二十一等	一六五〇〇	三十二等	九五〇〇	四十三等	四〇〇〇	五十四等	一〇〇〇〇
十一等	二五〇〇〇	二十二等	一六〇〇〇	三十三等	九〇〇〇	四十四等	三五〇〇		

備考 本表ハ全管同地目ニ付シタル地價額ヲ順次排列シタルモノニシテ全管各等級ノ間差及等級ノ數ヲ示スヲ目的トス以下同之

一段歩當地價順位表 (其二)

一等	三八〇〇〇	十一等	二四〇〇〇	二十一等	一五〇〇〇	三十一等	八〇〇〇	四十一等	三〇〇〇
二等	三五〇〇〇	十二等	二三〇〇〇	二十二等	一四〇〇〇	三十二等	七五〇〇	四十二等	二五〇〇
三等	三三〇〇〇	十三等	二二〇〇〇	二十三等	一三五〇〇	三十三等	七〇〇〇	四十三等	二〇〇〇
四等	三二〇〇〇	十四等	二一〇〇〇	二十四等	一三〇〇〇	三十四等	六五〇〇	四十四等	一五〇〇
五等	三〇〇〇〇	十五等	二〇〇〇〇	二十五等	一二〇〇〇	三十五等	六〇〇〇	四十五等	一〇〇〇
六等	二九〇〇〇	十六等	一九〇〇〇	二十六等	一一〇〇〇	三十六等	五五〇〇	四十六等	一〇〇〇

七等	二八〇〇〇	十七等	一八〇〇〇	二十七等	一〇〇〇〇	三十七等	五〇〇〇	四十七等	八〇〇〇
八等	二七〇〇〇	十八等	一七〇〇〇	二十八等	九五〇〇	三十八等	四五〇〇	四十八等	七〇〇〇
九等	二六〇〇〇	十九等	一六五〇〇	二十九等	九〇〇〇	三十九等	四〇〇〇	四十九等	六〇〇〇
十等	二五〇〇〇	二十等	一六〇〇〇	三十等	八五〇〇	四十等	三五〇〇	五十等	五〇〇〇

一段歩當地價順位表 (其三)

一等	一〇五〇〇〇	八等	二七〇〇〇	十五等	二二〇〇〇	二十二等	一五〇〇〇	二十九等	九〇〇〇
二等	七五〇〇〇	九等	二六〇〇〇	十六等	二〇〇〇〇	二十三等	一四〇〇〇	三十等	八〇〇〇
三等	五五〇〇〇	十等	二五〇〇〇	十七等	一九〇〇〇	二十四等	一三五〇〇	三十一等	六〇〇〇
四等	四五〇〇〇	十一等	二四〇〇〇	十八等	一八五〇〇	二十五等	一三〇〇〇	三十二等	四〇〇〇
五等	三五〇〇〇	十二等	二三〇〇〇	十九等	一八〇〇〇	二十六等	一二〇〇〇	三十三等	二五〇〇
六等	三一〇〇〇	十三等	二二〇〇〇	二十等	一六〇〇〇	二十七等	一〇五〇〇	三十四等	二〇〇〇
七等	三〇〇〇〇	十四等	二一五〇〇	二十一等	一五五〇〇	二十八等	一〇〇〇〇		

市街地價順位表 (其四)

第六編 租稅 第一章 內國稅



一 等	一〇〇〇〇〇	四 等	五〇〇〇〇	七 等	一八〇〇〇	十 等	八〇〇〇	十三 等	二〇〇〇
二 等	八五〇〇〇	五 等	三五〇〇〇	八 等	一三〇〇〇	十一 等	七〇〇〇		
三 等	六五〇〇〇	六 等	二五〇〇〇	九 等	一〇〇〇〇	十二 等	六〇〇〇		

五 地價地租額

地價ノ總額ハ八百四拾五萬貳千參百七拾參圓九拾七錢九厘ニシテ此地地租額ハ貳拾壹萬千四百七拾五圓九拾七錢貳厘トス今之ヲ舊租額五拾萬參千八百拾參圓參拾貳錢貳厘ニ比スレハ金貳拾九萬貳千參百參拾七圓參拾五錢ヲ減シ其減額歩合ハ五割八歩トス  
其地價地租額ニ關スル詳細ハ左記諸表之ヲ示ス

地目別地價地租總計表 (其一)

地目	區分	郡區名	地價				地租			
			田	畑	郡村宅地	市街宅地	田	畑	郡村宅地	市街宅地
田	地	那霸區	一、五〇九、五九〇	三、七〇〇、七五〇	一、五〇九、五九〇	三、七〇〇、七五〇	一、五〇九、五九〇	三、七〇〇、七五〇	一、五〇九、五九〇	三、七〇〇、七五〇
畑	地	那霸區	三、一〇〇、六七八〇	七、七五〇、三七二〇	三、一〇〇、六七八〇	七、七五〇、三七二〇	三、一〇〇、六七八〇	七、七五〇、三七二〇	三、一〇〇、六七八〇	七、七五〇、三七二〇
郡村宅地	地	那霸區	一、二〇〇、七二一〇	三、四〇〇、七二一〇	一、二〇〇、七二一〇	三、四〇〇、七二一〇	一、二〇〇、七二一〇	三、四〇〇、七二一〇	一、二〇〇、七二一〇	三、四〇〇、七二一〇
市街宅地	地	那霸區	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇
田	地	首里區	一、五四五、〇二〇	三、八六一〇	一、五四五、〇二〇	三、八六一〇	一、五四五、〇二〇	三、八六一〇	一、五四五、〇二〇	三、八六一〇
畑	地	首里區	一、五〇〇、七五〇	三、八八五、七五〇	一、五〇〇、七五〇	三、八八五、七五〇	一、五〇〇、七五〇	三、八八五、七五〇	一、五〇〇、七五〇	三、八八五、七五〇
郡村宅地	地	首里區	三、四〇〇、七二一〇	七、七五〇、三七二〇	三、四〇〇、七二一〇	七、七五〇、三七二〇	三、四〇〇、七二一〇	七、七五〇、三七二〇	三、四〇〇、七二一〇	七、七五〇、三七二〇
市街宅地	地	首里區	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇
田	地	島尻郡	三、八〇〇、五二五、四二二	九、五二二、一八二	三、八〇〇、五二五、四二二	九、五二二、一八二	三、八〇〇、五二五、四二二	九、五二二、一八二	三、八〇〇、五二五、四二二	九、五二二、一八二
畑	地	島尻郡	一、九二二、七〇〇、七七〇	四、九八八、八三二	一、九二二、七〇〇、七七〇	四、九八八、八三二	一、九二二、七〇〇、七七〇	四、九八八、八三二	一、九二二、七〇〇、七七〇	四、九八八、八三二
郡村宅地	地	島尻郡	一、九三三、二八八、八九〇	四、八三七、一一五	一、九三三、二八八、八九〇	四、八三七、一一五	一、九三三、二八八、八九〇	四、八三七、一一五	一、九三三、二八八、八九〇	四、八三七、一一五
市街宅地	地	島尻郡	五、四〇〇、六一〇	一、三五八、六一〇	五、四〇〇、六一〇	一、三五八、六一〇	五、四〇〇、六一〇	一、三五八、六一〇	五、四〇〇、六一〇	一、三五八、六一〇
田	地	中頭郡	二、九七七、七九九、九三〇	七、四五三、〇四一	二、九七七、七九九、九三〇	七、四五三、〇四一	二、九七七、七九九、九三〇	七、四五三、〇四一	二、九七七、七九九、九三〇	七、四五三、〇四一
畑	地	中頭郡	二、五五五、二七〇、四四〇	六、三九二、〇七九、四四〇	二、五五五、二七〇、四四〇	六、三九二、〇七九、四四〇	二、五五五、二七〇、四四〇	六、三九二、〇七九、四四〇	二、五五五、二七〇、四四〇	六、三九二、〇七九、四四〇
郡村宅地	地	中頭郡	二、〇〇二、四六六、四八〇	五、〇一三、二二六	二、〇〇二、四六六、四八〇	五、〇一三、二二六	二、〇〇二、四六六、四八〇	五、〇一三、二二六	二、〇〇二、四六六、四八〇	五、〇一三、二二六
市街宅地	地	中頭郡	三、二七八、七九〇	八、一九五〇	三、二七八、七九〇	八、一九五〇	三、二七八、七九〇	八、一九五〇	三、二七八、七九〇	八、一九五〇

地目別地價地租總計表 (其二)

地目	區分	郡區名	地價				地租			
			田	畑	郡村宅地	市街宅地	田	畑	郡村宅地	市街宅地
田	地	那霸區	四、二四、六七七、〇二〇	一〇、六二六、七四一	四、二四、六七七、〇二〇	一〇、六二六、七四一	四、二四、六七七、〇二〇	一〇、六二六、七四一	四、二四、六七七、〇二〇	一〇、六二六、七四一
畑	地	那霸區	九、一八、四一八、三五八	二二、九八四、六二二	九、一八、四一八、三五八	二二、九八四、六二二	九、一八、四一八、三五八	二二、九八四、六二二	九、一八、四一八、三五八	二二、九八四、六二二
郡村宅地	地	那霸區	一、二四、六八七、一九〇	三、二二一、八一〇	一、二四、六八七、一九〇	三、二二一、八一〇	一、二四、六八七、一九〇	三、二二一、八一〇	一、二四、六八七、一九〇	三、二二一、八一〇
市街宅地	地	那霸區	一、四四一、〇〇〇	三、六〇八一	一、四四一、〇〇〇	三、六〇八一	一、四四一、〇〇〇	三、六〇八一	一、四四一、〇〇〇	三、六〇八一
田	地	宮古郡	二、二、六七五、〇九〇	五、六七六、二二八	二、二、六七五、〇九〇	五、六七六、二二八	二、二、六七五、〇九〇	五、六七六、二二八	二、二、六七五、〇九〇	五、六七六、二二八
畑	地	宮古郡	六、七四、四一八、二九三	一、六、八六六、四五五	六、七四、四一八、二九三	一、六、八六六、四五五	六、七四、四一八、二九三	一、六、八六六、四五五	六、七四、四一八、二九三	一、六、八六六、四五五
郡村宅地	地	宮古郡	七〇、四五三、四四〇	一、七六三、七四九	七〇、四五三、四四〇	一、七六三、七四九	七〇、四五三、四四〇	一、七六三、七四九	七〇、四五三、四四〇	一、七六三、七四九
市街宅地	地	宮古郡	四〇、八七七、〇	一〇、三二五	四〇、八七七、〇	一〇、三二五	四〇、八七七、〇	一〇、三二五	四〇、八七七、〇	一〇、三二五
田	地	八重山郡	一〇、九六四、一、九四〇	二、七四二、八三三	一〇、九六四、一、九四〇	二、七四二、八三三	一〇、九六四、一、九四〇	二、七四二、八三三	一〇、九六四、一、九四〇	二、七四二、八三三
畑	地	八重山郡	一、八三、七八一、六六八	四、五九六、六二三	一、八三、七八一、六六八	四、五九六、六二三	一、八三、七八一、六六八	四、五九六、六二三	一、八三、七八一、六六八	四、五九六、六二三
郡村宅地	地	八重山郡	三、五、一九四、一〇	八、七八八、九〇	三、五、一九四、一〇	八、七八八、九〇	三、五、一九四、一〇	八、七八八、九〇	三、五、一九四、一〇	八、七八八、九〇
市街宅地	地	八重山郡	四〇、八、五九〇	一〇、二五五	四〇、八、五九〇	一〇、二五五	四〇、八、五九〇	一〇、二五五	四〇、八、五九〇	一〇、二五五
田	地	計	一、二、三六、八二八、九九三	三〇、九五二、一七五	一、二、三六、八二八、九九三	三〇、九五二、一七五	一、二、三六、八二八、九九三	三〇、九五二、一七五	一、二、三六、八二八、九九三	三〇、九五二、一七五
畑	地	計	六、三七〇、九八二、〇五九	一、五九、三七六、八九七	六、三七〇、九八二、〇五九	一、五九、三七六、八九七	六、三七〇、九八二、〇五九	一、五九、三七六、八九七	六、三七〇、九八二、〇五九	一、五九、三七六、八九七
郡村宅地	地	計	一、六六六、九五二、六七〇	一、六六六、九六八、八一七	一、六六六、九五二、六七〇	一、六六六、九六八、八一七	一、六六六、九五二、六七〇	一、六六六、九六八、八一七	一、六六六、九五二、六七〇	一、六六六、九六八、八一七
市街宅地	地	計	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇	九、一〇一、七二二〇	二、二七五、八五〇
田	地	計	二、一七〇、一七〇	五、四、五九〇	二、一七〇、一七〇	五、四、五九〇	二、一七〇、一七〇	五、四、五九〇	二、一七〇、一七〇	五、四、五九〇



計	種	地	野	場	林
地	地	地	地	地	地
租價	租價	租價	租價	租價	租價
一、四九四、八四八、〇八一	一、八八六、二七八	八、九九九、七二五	二、二六、五三九	四、一四〇、六一三	一、〇八三、二四六
三七、四一、一八五八	四七、二二八	二、二六、五三九	一、〇三、八八四	一、四、一九〇	二七、一六六
六〇、九五八、三	八六、〇九	八、九九九、七二五	一、〇三、八八四	一、四、一九〇	一〇、八三三、二四六
一、五二八、三	二二一	二、二六、五三九	一、〇三、八八四	一、四、一九〇	二七、一六六
五、五三二、七七〇	五、五三二、七七〇	二、九二〇、二三六	七、三二、九六	二、七、三五〇、五〇四	六、一〇〇、六〇〇
一、三三、三三三	一、三三、三三三	七、三二、九六	五、八八五	二、七、三五〇、五〇四	一、五二、五二二
三三、三三三、〇〇〇	三三、三三三、〇〇〇	八、四、五二、三三三	一〇、四二八、二七三	二、七、三五〇、五〇四	六、一〇〇、六〇〇
八、三五〇、八七	八、三五〇、八七	八、四、五二、三三三	二、六〇、九九〇	二、七、三五〇、五〇四	一、五二、五二二
三三、三三三、〇〇〇	三三、三三三、〇〇〇	八、四、五二、三三三	二、六〇、九九〇	二、七、三五〇、五〇四	六、一〇〇、六〇〇
八、三五〇、八七	八、三五〇、八七	八、四、五二、三三三	二、六〇、九九〇	二、七、三五〇、五〇四	六、一〇〇、六〇〇
三三、三三三、〇〇〇	三三、三三三、〇〇〇	八、四、五二、三三三	二、六〇、九九〇	二、七、三五〇、五〇四	六、一〇〇、六〇〇
八、三五〇、八七	八、三五〇、八七	八、四、五二、三三三	二、六〇、九九〇	二、七、三五〇、五〇四	六、一〇〇、六〇〇

新舊地租一戸當負擔額比較表

郡區名	分	戸	數	新租額	舊租額	比較増減	郡區名	分	戸	數	新租額	舊租額	比較増減
那覇區		七、五二七		三、三三三	〇、一三三	三、三三三	國頭郡		一、七三三		二、二五九	四、五六一	二、四〇二
首里區		五、三三四		三、三三三	三、三三三	〇	宮古郡		七、九九一		二、四二二	五、一九八	二、七七七
島尻郡		二、五〇八		二、六六六	七、九三一	五、三二一	八重山郡		三、四一六		二、四七九	五、九二六	三、四四七
中頭郡		二、五二二		三、〇五八	六、五九八	三、五四〇	計		九一、七九六		二、三〇四	五、四八八	三、一八四

備考 本表戸數ハ各地主ノ屬スル一月籍ヲ計上シタルモノナルモ那覇首里ノ二區ハ地主ノ數不明ナルニ依リ已ムヲ得ス全部ノ在籍戸數ヲ掲ケタリ

六 土地臺帳ノ調製

地價ヲ決定セハ按ニ各地主ニ對シテ各筆地ノ地價額ヲ告知スルト共ニ一方ニ於テハ土地臺帳ヲ

調製シテ之ヲ所管廳ニ引繼クヲ要ス而シテ各筆地ノ地價額ヲ告知スルニ方リテハ其告知書ニ記載スヘキ事項ハ亦土地臺帳ニ記載スヘキ事項ニ異ナラスシテ其手數一モ土地臺帳ノ調製ニ要スルモノニ比シ多少アルコトナシ殊ニ土地所有權ノ始メテ確認セラレ且登記法ノ未タ施行セラレサル本縣ニ在リテハ單ニ徵稅上ノ目的ニ供スル地租名寄帳ノ外又土地臺帳ヲ必要トスルモノナシトセス是ヲ以テ土地臺帳ハ正副二通ヲ製シ正本ハ之ヲ所管廳ニ引繼キ副本ハ之ヲ所轄間切役場ニ下付シ以テ地價ノ告知ニ代フルト共ニ之ヲ間切役場ニ備付セシムルノ便法ヲ取リタリ

四 各業務ノ著手及完成

以上各業務ノ著手ハ明治三十二年四月ニ始マリ明治三十六年十月ヲ以テ全部ヲ完成ス而シテ全管五郡二區ノ内宮古八重山ノ二郡ニ屬スル業務ノ全部ハ明治三十五年十二月ヲ以テ之ヲ完了シ翌三十六年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行セラル三郡二區ニ屬スル業務ハ明治三十六年十月ヲ以テ完了シ將ニ來明治三十七年一月一日ヨリ地租條例及國稅徵收法ヲ施行セラレントシ茲ニ始メテ沖繩縣全管ノ土地及租稅制度ハ帝國同一制度ノ下ニ歸屬スルニ至ル

土地整理事業著手完成時期一覽表

地方	區分	土地處分	土地測量	地價査定
宮古	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月	著手年月 完成年月
	三十二年四月 三十三年二月	三十二年四月 三十三年八月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年四月 三十三年三月
	三十二年四月 三十三年九月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年四月 三十三年三月
	三十二年七月 三十三年七月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年四月 三十三年三月
	三十二年七月 三十三年七月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年七月 三十三年七月	三十二年四月 三十三年三月







五期 同五月三十一日ヨリ

田畑宅地以外ノ地租 全部

是ヨリ先キ土地整理法第一項但書ニ依リ又ハ之ニ準シ土地所有權ヲ得タル者ノ交付スヘキ報償額及時期ニ付明治三十二年六月勅令第三百四號ヲ以テ之ヲ定メタリ

第一條 沖繩縣土地整理法第六條第一項但書ニ依リ土地ノ所有權ヲ得タル者ノ交付スヘキ報償額ハ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ交付シタル叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償ノ三箇年分トス但シ叶米其ノ他金錢ニアラサル報償ハ關係者ノ協議ニ依リ之ヲ金錢ニ換算シテ交付スルコトヲ得

第二條 前條ノ報償額ハ其ノ土地ニ付地租條例ニ依リ始メテ地租ヲ課セラル、年ニ於テ之ヲ交付スヘシ但シ其年賦ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ前合ニ於テハ毎年ノ交付額ハ從來ノ叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償年額ヲ下ルコトヲ得ス

第三條 前二條ハ沖繩縣土地整理法第十七條ニ依リ同法第六條第一項但書ニ準シテ土地ノ所有權ヲ得タル者ニ準用ス

又從來沖繩縣ニ於テハ舊慣ニ依リ買上糖ト稱シ一定不變ノ價格ヲ以テ毎年砂糖ヲ買上ケ其代金ハ畑租ノ石代金ト相殺シタルモ今日ニ至テハ該制度廢止ノ必要ヲ認ムルヲ以テ明治三十二年三月三十一日限リ之ヲ廢止スル旨同年二月二十一日法律第二十三號ヲ以テ公布セリ

### 第三項 伊豆七島

伊豆七島トハ八丈島、大島、新島、神津島、利島、三宅島及御藏島ヲ指シテ之ヲ云フ初メ徳川幕府ノ直轄

地タリシカ維新後東京府ノ管スル所トナレリ今該島ニ於ケル人民土地所有ノ沿革ヲ案スルニ往古ハ之レヲ詳ニシ難シト雖モ各自ニ分割使用シタルモノナラン降テ享保以降ノ書類ヲ見ルニ功勞其他特殊ノ事故アルニ依リ島役人ヨリ特ニ割渡ヲ受ケタルモノナキニアラスト雖モ多クハ或ル地域ヲ定メ地割、割地ト稱シテ土地ヲ分割シタル上各自之レヲ開墾シ又ハ用材地ト爲セシカ如シ其割地、地割ト稱スルハ永久ニ各自ノ所有地トナス意思ヲ以テ行ヒタルモノニシテ沖繩縣ノ如キ或ル年限ニ至リ更ニ割換ヲ爲スカ如キモノニハアラサルナリ而シテ未タ分割セサル所ノ土地ハ住民共有ノ觀念ヲ以テ使用シ來レリ斯ノ如ク島民ハ個人有又ハ共有即チ村持ノ觀念ヲ以テ所持シ又ハ使用スルト雖モ是レ各自自信自稱スルニ過キサリシカ天明寛政年度幕府カ地租ノ制ヲ施行スルニ及ンテ各自ノ持地ハ之レカ賦課ヲ受ケ其所有タルコト稍確實トナリ次テ明治維新後政府カ土地所有ノ制ヲ確定セラル、ニ至リ今日ノ所謂所有權トナレリ然レトモ島民ハ分割ニ依テ得タル土地ハ自己ノ物ナリトシ進ンテ幕府ノ公認ヲ得ルカ如キコトヲ爲サ、リント且ツ幕府ハ山林原野ノ如キハ課稅外ニ措クノ方針ナリシヲ以テ明治維新ノ際各自所有スル土地中ニハ未タ地租ヲ課セラレズ即幕府ノ公認ヲ經サルモノ數多アルノミナラス維新後尙ホ習慣ニ依リテ分割割渡ヲ爲シ未タ貢租地トナラサルモノモ巨多アリ明治七年足柄縣官吏ノ出張及同九年靜岡縣官吏出張ノ際開墾獎勵及納稅方ニ付説諭ヲ加ヘタルヲ以テ同七八年ノ頃ヨリ土地及地租ニ關シ續々願書ヲ提出スルニ至レリ然レトモ管轄廳ハ何レモ他日ノ整理ヲ期シ出願事件ニ對シテハ處分ヲ爲サスシテ經過シタリシカ明治十五年二月一日第三號布達ニヨリ各島ニ於ケル伐木ヲ禁止スヘキ民有地調査ノ必要ヲ生シ殊ニ島民出願事件處分其他官民有區分ノ必要アルヲ以テ明治十



五年八月十八日東京府知事ハ左ノ如キ達ヲ發シタリ  
 官有山林原野ノ内水源涵養土砂杆止風潮除等國土保安ニ關係アルモノト否ラサルモノトノ區別竝ニ本年太政官第三號布達ニ依リ民有林中同上ノ關係アリ將來伐木停止ヲ要スル箇所段別樹木等取調トシテ勸業租稅土木三課員出張申付候條其旨相心得實地取調ノ節地役人名主ニ於テ立會候様可致此旨相達ス

而シテ明治十五年ヨリ(島ニ出張シタルハ十五年)主任官吏ヲ各島ニ派遣シテ調査ヲ爲サシメ官民有地ヲ問ハス國土保安ニ關係ノ有無ヲ調査シ其關係アル土地ニ對シテハ伐木ヲ禁シ各島ヨリ之カ請書ヲ徵シタリ  
 且ツ島民各自所持セル土地未タ貢租ノ賦課ヲ受ケス政府ノ公認ヲ經サルモ民有ノ證據明カナルモノハ民有認定ヲ與フル方針ヲ以テ調査シ島民ヨリハ之レカ出願ヲ爲セリ東京府知事ハ明治十九年ニ至リテ民有認定ヲ許可シ而シテ同年分ヨリ地租ヲ賦課シタリ從來ヨリ村持トシ又ハ島民ノ共有ナリト自稱シテ使用シ來リタル土地ハ分割ニ依リテ漸次島民ノ專有ニ移リタリト雖モ尙ホ是等ノ土地數多存在シ諸島ノ内ニハ從前諸運上ヲ納付シタルヲ理由トシテ民有タルコトヲ主張セシ向ナキニアラサリシカ政府ハ民有ノ確證ナキモノト認メタリ然レトモ民有ニ移スノ方針ヲ以テ調査ヲ爲シタルカ故ニ島民ヨリハ之レカ下付ヲ請ヘリ政府ハ明治十九年ニ至リ其出願ヲ許可シ無代價ヲ以テ民有ニ移シ一島若クハ一村ノ共有地トナサシメ猥リニ分割ヲ爲サシメス即チ分割ヲ要スルトキハ府知事ノ認可ヲ受クヘキ旨ノ條件ヲ付シテ官有地下付ノ出願ヲ許可シ民有認定地ト共ニ賦租ノ處分ヲ爲シタリ此ノ處分ニ依リ同島ノ土地ハ十中八九ハ民有タルコト確

定セリ然ルニ十九年處分ノ土地ト同一ノ狀況ヲ有シタル土地ニシテ今日官有未定地官有地又ハ島ノ共有地トシテ殘存セルモノアリ恐ラク十九年處分ノ際脱落シタルモノナルヘシ(當時村境界下付モノアサ)右ニ述フルカ如ク十九年處分ノ方針ハ全島ノ土地中國土保安等ニ關係ナキモノハ悉ク民有ト爲スニ在リタルヲ以テ十六年調査ノ際取調周到緻密ナルニ於テハ今日斯ノ如キモノヲ見サルヘシト雖モ島役人等事ニ駟レサリシト又從來精確ナル地面ナク隨テ民有地ノ所在明瞭ナラサリシ等ニ依リ遂ニ處分脫漏スルニ至リタルモノナラン  
 幕府ヨリノ申渡書中土地ニ關スル部分ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 田畑永代賣買堅ク停止ノ事
- 一 田地質入ニ致候ハ、年季ヲ定メ手形ニ名主年寄爲致加判證文可取候尤年季ハ十箇年ヨリ永年季ニ致間敷候若シ右加判ノ儀謂無之候テ名主年寄不致加判候ハ可申出候尤名主質入主ニ候ハ、年寄加判無之候テハ不立且又質入ノ名主年寄ヘ不致沙汰相對ニテ質入入候儀堅致間敷候事附御年貢ノ儀ハ不及申繼ヘ少分ノ品タリトモ其手形無之取遣致間敷候若證文無之出入等申出候ハ、吟味ノ上可爲越度事
- 一 用水引候儀先規ノ例ヲ以テ兼テ定メ用水不足ノ處有之ハ互ニ論ヲ不致神主名主年寄共方ヘ可申訴云々

一 島中ノ輩爲寬宥新田令開發可然所ハ吟味ノ上障リ無之ニ於テハ開發可申付ハ勿論本畑へ精ヲ以レ可令耕作若獨身ノ百姓相煩候ハ、其年寄ノ百姓互ニ助令田畑不承様可申附事  
 寛政八年四月十三日

勘定奉行連印



三河 口太忠殿(支配ノ代官ナリ)

一 新田畑開發可相成場所等無隱有體ニ申立見分可請其外何品ニ不寄土地相當ノ作物仕附方心附候得ハ可申立聊タリトモ島方夫食ノ足合ニ相成候様精ヲ出シ作付可申候(寛政八年九月八日)

一 夫病死致後家ニナリ幼年子供有之者ノ畑長女ヲ馬鹿ニ致掠取候者ハ猶嚴重ニ可被仰附候其旨相心得若左様ナルモノ有之候ハ、島役人吟味致役所へ可申立候急度御仕置可被仰附候事

次ニ地租ニ就テハ幕府カ七島ノ土地ニ對シテ地租ヲ課シタルハ天明二年ヲ以テ初メトス幕府ハ安永十年左ノ如ク各島ニ申渡セリ

先觸

伊豆國附七島ノ義田畑モ少々ハ有之候由ニ候得共島方ノ義ニ附漁獵稼等ヲ専ラト致一體ニ乏敷候故年々御救米被下置候義ニ有之且八丈島ニハ御國穀御手當モ有之程ノ義ニ候處流人其外ニテ次第ニ人別ハ相増シ候趣ニ候得共島方助成ニ相成候義モ不致出來尤島方爲ニ相成候筋ハ無油斷可被勘辨候得共年來御人被遣候義モ無之右土地ノ様子見分ノ上致勘辨候ハ、島方助成相成候義モ可有之哉ニ附此度佐藤玄六郎吉川儀右衛門爲見分差遣候第一島方御救ノ爲ニ候間島方ノ者心得違無之見分筋案内等諸事不差支様可致候右之趣從松平伊豆守殿我等方へ御下知ニ附申渡候間云々

安永十五年五月

江川太郎左衛門殿

大	島
利	島
新	島
神	島
三	島
御	島
八	島

神主名主年寄

而シテ安永十年(天明元)ヨリ天明二年ニ涉リ吏員ヲ派遣シ各島ノ耕地及貢租ヲ調査セシメタル結果天明三年ニ至リ同二年ヨリ賦租シタリ其賦租ノ方法ハ課率ヲ定メ段別ノ多寡ニ應シテ賦課セリ課率ハ一段歩永二十文乃至三十五文ニシテ諸島異同アリ但八丈島ハ從前ヨリ年貢ト稱スル貢納物アリ又元文二年檢地ノ際年貢地ナル名稱ヲ設ケタルヲ以テ爾後貢納物ハ地租ノ姿トナリタレトモ其課額ハ土地ノ多寡ニ伴ハス頗ル曖昧ナルモノナリシカ前記ノ如ク地租ノ制ヲ創ムルニ當リ從來ノ貢納ヲ田畑ニ割附ケ茲ニ初メテ地租タルコト確定スルニ至リタルモノトス天明三年賦租シタル總額ハ左ノ如シ



山 畑 田	段 別	五十七町八段八畝二十四步五合	金 額	八丈島本租	同 口 租
		三百十五町四段二畝二十七步			
畑	不定	水二十七貫七百三十二文三分			

畑ノ内ニハ八丈島屋敷地ヲ含ム

斯ノ如ク耕地ヲ調査シ賦租ヲ爲シタリシカ天明八年ニ至リ天明三年新規ニ賦課シタル地租ハ總テ免除シタリ然ルニ三宅島ニ在テハ天明三年以後地租ヲ賦課シ來リタルヲ以テ七島ノ内八丈三宅ノ兩島ニハ地租ノ制存續シ他ノ諸島ハ昔日ノ如ク無地租トナレリ越ヘテ寛政五年幕府ハ更ニ吏員ヲ派遣シテ土地ノ調査ヲ爲サシメ其結果各島耕地及屋敷地(八丈島屋敷地ハ天明及賦租ノ儘)ニ對シテ貢租ヲ定メタリ其額ハ左ノ如シ

山 畑 田 屋	段 別	十二町一段三畝十二步	金 額	八丈島本租	同 口 租
		四町九段十八步			
地	二百二十五町七段七畝二十五步	四十九貫八百五十六文			
	二町步				

茲ニ於テ七島一般ニ地租ヲ賦課スルコト、ナレリ爾後土地ノ開墾異動ニ依リテ地租ヲ増減シ又新島神津島利島及三宅島四島ノ貢租地中或ル幾部ニ對シテハ島民蓄積金ノ必要ヨリ地租ト同一ノ方法ヲ以テ増徴ヲ命シ一定期限滿期後全ク永久ノ地租トナリ以テ明治維新ニ至リシカ明治十二年七月七日地租改正事務局ハ舊稅據置ノ事ヲ太政官ニ稟申シ同月二十四日之カ決裁ヲ經タリ即チ左ノ如シ

伊豆七島舊稅據置ノ儀ニ付伺

東京府管轄伊豆國付七島舊稅據置ノ儀該府ヨリ上申候ニ付篤ト考按候處掌大孤島ノ點在ニシテ從來頗ル不便ヲ極メ候ヨリ百事未タ整理ヲ得ス此際強テ改租ノ法令ヲ施行セントスルモ實際難被行事情モ有之依テ特別ヲ以テ府縣見込ニ任セ暫ク舊稅ニ據置漸ク適當ヲ量リ施行候様此段相伺候也

而シテ島民所持ノ土地中ニハ未タ地租ヲ課セサルモノアリ其他官民有區分ノ明カナラサルモノアルヲ以テ東京府ハ明治十五及十六年官吏ヲ各島ニ派遣シ調査ヲ爲サシメタル上明治十九年民有認定官有下付ノ處分ヲ爲スト共ニ地租ヲ課賦シタリ其段別及租額左ノ如シ

田 屋	敷	段 別	地 額		租	
			金 額	八丈島本租	同 口 租	紬
	一町三段七畝二十四步		七拾貳錢六厘			
	九段五畝十九步			黃納一七七分三厘五毛		黃納七厘三毛



計	山 林		原 野		雜 地	
	畑	林	野	地	地	地
千八百六十一町七段六畝三歩	四千四百六拾五厘	九毛	九百三十二反九厘	九毛	四百六拾五厘	九毛
千七百三十四町四段一畝二十歩	六拾七圓七拾九錢八厘	二毛	黃袖二十一反五分七厘	二毛	六拾七圓七拾九錢八厘	二毛
四百五十町六段八畝歩	七圓六拾六錢四厘	黃袖一反四分五厘三毛	黃袖一反四分五厘三毛	黃袖一反四分五厘三毛	七圓六拾六錢四厘	黃袖一反四分五厘三毛
五段五畝六歩	八拾圓貳拾五錢參厘	黃袖一厘三毛	黃袖一厘三毛	黃袖一厘三毛	八拾圓貳拾五錢參厘	黃袖一厘三毛
三千二百四十九町七段四畝十二歩	黃袖二百二十六反八分	六厘八毛	黃袖二百二十六反八分	六厘八毛	三千二百四十九町七段四畝十二歩	黃袖二百二十六反八分
四畝十二歩	八拾圓貳拾五錢參厘	六厘八毛	八拾圓貳拾五錢參厘	六厘八毛	四畝十二歩	八拾圓貳拾五錢參厘
官有下付地ノ分	千八百九町三段六畝四分五合	四拾八圓六拾壹錢貳厘	黃袖二十反九分八毛	黃袖七分二厘	千八百九町三段六畝四分五合	四拾八圓六拾壹錢貳厘
民有認定地ノ分	千六百四十町三段八畝七分五合	參拾壹圓六拾四錢壹厘	黃袖二百二十六反八分	黃袖九反三分五厘三毛	千六百四十町三段八畝七分五合	參拾壹圓六拾四錢壹厘

右民有地認定及官地下付處分ヲ爲スニ先チ東京府知事ハ左記ノ如キ調査順序ヲ定メテ七島ニ達シタリ蓋シ十六年ノ調査ニ依リテ官民有ノ區分判明シ之レカ處分ノ機遠キニアラサルヲ以テ爾後此順序ニ依リ異動地ノ整理ヲ爲サンコトヲ期シタルナラン然レトモ之ニ依リテ取扱ヲ爲シタルハ十八九年ノ交八丈島ニ於ケル二三ノ變換地及十八年神津島ニ於ケル一件ノ開墾地アルノミ府知事ハ又明治二十九年ニ至リ地役人ニ對シ民有異動地檢査ノ件ヲ委任シタリト雖モ調査順序違後既ニ此ノ如キ狀況ナルヲ以テ一モ實行シタルモノアルヲ見ス

其後國稅事務ノ主管ヲ改メラレタル結果トシテ該委任條件ハ遂ニ消滅ニ歸セリ調査順序ハ今日效力ヲ有スルヤ否曖昧ナレトモ假リニ理論上有効ナリトスルモ事實ニ於テハ實行セラレス消滅ニ歸シタルノ觀アリ

自第三號至第九號

伊豆七島島役所

民有地開墾及荒地變換ノ出願者アルトキハ別紙地所調査順序ニ依リ取調差出スヘシ此旨相達候事

東京府知事

明治十七年一月九日

(別紙) 地所調査順序

第一章 開墾地

- 第一條 民有ノ土地ヲ開墾(山林又ハ原野ヲ田畑)及墾下年期ヲ願出ツルモノアルトキ實際要スル費用ト成效後該地ヨリ得ヘキ收利等ヲ豫算シ其ノ費用ヲ償却シ得ヘキ方法等取調願書ヲ届出サシムヘシ
- 但墾下ノ年期ハ十年以内タルヘシ
- 第二條 第一條ノ願書ヲ差出シタルトキハ地役人ハ實地ニ就キ段別ノ廣狹ヲ概量シ前調査ニ依リ年期ノ當否ト障害ノ有無トヲ調査シ願書ニ添ヘ具申スヘシ
- 第三條 墾下年期明ニ至テハ更ニ段別ヲ丈量シ類地相當ノ貢租額ヲ付シ納稅願書ヲ差出サシムヘシ
- 第四條 第三條願書ヲ差出シタルトキハ地役人ハ實地ニ就キ段別ヲ査定シ近傍類地ニ比準シ其貢租適當ト視認スルトキハ其事由ヲ願書ニ添ヘ具申スヘシ
- 第五條 年期明ニ至リ該地ノ幾部分ヲ竣效セシトキハ其部分ノミ第三條第四條ノ例ニ依ルヘシ







ニシテ之ニ對スル徵收金品額ハ  
金納 貳百貳圓五錢六厘

物品納  
黃紬 九十八反  
合絲織 百三十反

ナリ更ニ各島ノ段別租額ヲ列記スレハ左ノ如シ

島名	段別	地租		徵收		合絲織金額
		金額	本租黃紬口額	黃紬口額	合絲織	
八丈島	二、六六六、六三二、七	748,537	31,034	98	130	31,571
大島	六九八、八二二					75,517
新島	三四四、〇二二					33,329
神津島	七三、三五〇〇					9,913
利島	二八、一三二、三					3,641
三宅島	三二六、〇七二〇					43,986
御藏島	七二、九八一					4,094
計	四、二〇〇、三〇五、五	748,537	31,034	98	130	202,052

右ノ外荒地免租年期中ニ係ルモノ及免租地ノ種類段別ハ左ノ如シ  
荒地免租年期中

屋敷	段別	地租		同口	租
		金額	八丈島本租		
屋敷	四段七畝二十四歩	貳拾六錢參厘			一毛
畑	二十一步五合				二毛
計	八町七段六畝二十五歩	貳圓貳拾四錢參厘			三毛
	九町二段五畝十歩五合	貳圓五拾錢六厘			三毛

本表ノ内ニハ免租年期限ニ達スルモ繼年期限附與ノ手續未済ノ土地ヲ含ム

免租地

學校地 一段九畝二十歩

崖地 九町一畝十二歩

計 九町二段一畝二歩

次ニ地租徵收ニ關スル順序方法ハ先ツ既定ノ租額ニ依リ割付書ヲ作成シ代官ヨリ島役人ニ交付シ島役人ハ之ニ基ツキ尙ホ備付ノ帳簿ニヨリテ納額ヲ調査シ各村役人ニ通告シテ徵收シ又ハ互ニ各納人ヨリ徵收シ便船ヲ待チ若クハ其地便宜ノ方法ニ依リテ幕府ニ納付シ小手形即チ現今ノ領收書ヲ受ケテ其義務ヲ了シ又代官ハ更ニ一箇年間ニ於ケル租稅其他返納米金等荷クモ納付シタルモノ、納額ヲ統計調査シ皆濟目錄ナルモノヲ作成シ豫テ交付シ置キタル小手形ト引換ヘニ之ヲ交付シ以テ其納金ヲ確證スルハ幕府時代ニ於ケル一般ノ方法ナリシカ如シ然レトモ八丈島



ノ如キ物品納ノ制アリテ實際一般ノ法ニ依リカタキアリ其他ノ島嶼ニアリテモ代官ノ命令ヲ俟  
タス納人ヨリ徵收スルコトアリ又ハ幕府ニ對シテハ一時島役所又ハ村役場ノ現在金ヲ以テ納付  
シ置キ便宜時期ヲ定メテ納人ヨリ徵收シタルコトアリ千差萬別各島間ハ勿論一島ニ在リテモ年  
ニ依リ一定ナラス村役場ニアリテモ亦之ト同シク甲乙村落ヲ異ニスルカタメニ其取扱方法ヲ異  
ニスルモノアリタリ

今幕府ヨリ發シタル申渡書ノ重ナルモノヲ左ニ掲ケン

天明五年八月江川代官ヨリ申渡ノ一節

一 御年貢其外納物ノ儀常々心掛無遲滯急度可相納事

附御年貢納方ノ儀常々心掛候へハ自然ト無油斷百姓奢モ相止メ渡世モ心易候納方ニ差掛リ  
候テ諸事調方ニ取掛リ候故難儀ニ相成候此段末々ノ百姓マテ能々吞込作物其外稼ノ儀無油  
斷可致出精事

寛政八年十一月支配代官ヨリ申渡ノ一節

一 御年貢ノ儀是迄及延引候段相聞不届ノ至候此後例年四月ヲ限り御年貢永返納物トモ無滯  
上納可致遲滯ニ於テハ夫々吟味ノ上急度申付候條可得其意候

維新後ニ至リ政府ニ於テハ當初ハ唯形式ヲ異ニスルノミニシテ幕府ト殆ント同様ノ取扱ヲ爲シ  
タリシカ内地徵收法ノ改正ニ隨ヒ漸次同法ニ準據スルコト、ナレリ又島地ニ於ケル取扱手續モ  
明治ノ當初ハ幕府ノ時ニ於ケルト敢テ異ナル所ナカリシカ漸次改正ヲ加ヘ現今ニ於テ略内地市  
町村ノ徵收方法ニ類似スルニ至レリト雖モ多クハ便宜ノ取扱ヲナセリ

維新前及其以後トモ政府へ納付スヘキ租稅ニシテ之カ納付ヲ怠リ遂ニ缺損トナリタルモノ、如  
キハ絶テアルコトナシ蓋シ其理由ハ租額ノ僅少ニシテ租率ノ低位ナルニ例ルモノナルヘシト雖  
モ畢竟幕府時代ニハ嚴格ナル命令アリテ之ニ服從シ滯納ヲ爲サ、ル習慣ノ存スルニ至リシニ因  
ルモノナラン然レトモ滯納ノ場合ニ於ケル取扱方ニ付單ニ慣例ニ依ルハ甚タ不便ナルヲ以テ明  
治三十五年三月法律第二十三號ヲ以テ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ラシムルコト、セリ  
以上ハ伊豆七島ニ於ケル地租徵收ノ大要ナリ然ルニ獨リ八丈島ニアリテハ古來物納ノ制度行ハ  
レ反布ヲ以テ地租ヲ納付シ以テ今日ニ至レリ仍テ左ニ其概略ヲ述ヘントス

八丈島ニ於テハ地租中本租ハ黃紬ヲ以テ定ムト雖モ現今實際ハ物品納及金納ノ二種ニ分レ物品  
納ニ合絲織納及黃紬納ノ二種アリ而シテ其金納ノ制ハ全ク維新ノ際ニ起リタルモノナレトモ二  
種ノ物品納ニ在テハ徳川幕府ノ當時ヨリ行ハレタリ然レトモ往古ニ在テハ黃紬ヲ以テ納付シ合  
絲織等ヲ以テ納付スルコトナカリシカ徳川家ヨリ反布ヲ注文スルノ事起リ次テ其注文ニ對シ納  
付スル所ノ反布ト貢租ト相殺セシムルコト、ナリ爾來幕府ハ用品ノ種類數量ヲ定メ前地ニ之カ  
注文ヲナスヲ例トセリ

今其手續ヲ述フレハ代官所ハ納戸方アリ徳川家御用反布ノ注文書ヲ受ケ之ヲ島役人ニ傳達ス島  
役所ニ於テハ詔注文書ノ交付ヲ受ケタルトキハ各村貢租額ノ多寡ニ從ヒ各村ニ於テ織立ツヘキ  
注文反布ノ種類(合絲織、帶織、黃)編柄竝ニ其數量ヲ定メ之ヲ明記シテ各村ニ達ス之ヲ貢租ノ盛付ト  
イフ村役場ニ於テハ盛付書ヲ受ケタルトキハ自村住民ヨリ徵收スヘキ合絲ノ數量ヲ定メ之ヲ賦  
課ス而シテ其納期ハ一定スル所ナク製絲ヲ終リタル頃ニ於テナスヲ例トス



此クノ如クシテ徵收シタル生絲ヲ以テ反布ヲ織立テ地役人名主立會ヒ検査ノ上村役場ヨリ島役所ニ納付ス其期日モ亦一定セス抑反布ノ原絲ハ之ヲ精撰シ且染方及織立ニ付島村役人ニ於テ嚴ニ監督ヲ加フト雖モ布巾布丈又柄柄相違シ往々織換ヲ命セラル、コトアリ其他運漕中ニ於ケル汚損等ニヨリ納品ノ不合格トナルコトアルヲ以テ豫メ注文以外ニ同一ノ反布ヲ製シ以テ之ニ備フ之ヲ控織ト云フ而シテ控織ニシテ不用トナルトキハ町拂ノ上一村ノ入用ニ供ス

次ニ島役所ニ於テハ上納品ヲ八丈島御用船ニ積載シ地役人等之カ警固ヲナシ江戸著船ノ上船中ニ於テ内見分ヲ受ケ上納スヘキモノト定メタル反布ニ缺點アルトキハ控織ト引替ヘ納戸方ニ待テ受納スヘキ反布ヲ決定シ置キ然ル後爾後正當ノ手續ニヨリテ納戸方ニ納付シ此ニ全ク注文反布ノ納付ヲ了ルモノトス而シテ該納付ニ付テモ一定ノ期日ナシト雖モ上納品ノ織立染方ヲ了ルトキハ直チニ發船ノ準備ニ著手スルヲ以テ天候ノ不良ナラサル以上ハ毎年概ネ同一時期ニ於テ上納セリ

以上ノ外口袖代及品々出物代納付ノ制アリ口袖トハ一ニ口永ト稱シ本租ニ對スル附加稅ニシテ品々出物ハ貢租ニモアラス附加稅ニモアラサル一種ノ賦課ナリ而シテ此二種ハ代金納ノ方法ニヨル然レトモ是レ幕府ノ收入ニアラスシテ代官所ニ屬スルモノトス而シテ品々出物代ハ後明治八年雜稅ノ廢止ト共ニ之ヲ廢止セリ

降テ明治維新トナルヤ合絲織ハ元ト徳川家ノ用品ニシテ貢租タル黃紬ト相殺スルハ一ノ便法ニ過キサルヲ以テ注文ノ廢止ト同時ニ之レカ納付ヲ止メ總テ黃紬ヲ以テ納付セシムヘキコト當然ナリト雖モ慶應三年將來ハ注文ニカ、ル反布ノ額ヲ以テ納ムヘキコトヲ定ム蓋シ從來合絲織一

反ト黃紬五反トノ割合ヲ以テ相殺スルヲ例トスレトモ其割合今ヤ一ニ對スルニ乃至三トナリ合絲織納付ヲ廢止セハ島民ノ負擔著シク増加スヘキヲ以テナラン而シテ賦課徵收ノ方法ハ當初ニアリテハ注文手續ナキノミニシテ大體上維新前ト同一ナリシカ後漸次各村適宜ノ方法ヲ用ユルニ至レリ今近年ニ於ケル狀況ヲ述ヘンニ稅務署ニ於テハ毎年三月中ニ前年分地租ニ對スル納稅告知書ヲ製シ地役人ニ對シ之ヲ發付ス蓋シ維新前ニアリテハ各村毎ニ割付書ヲ發セシカ直接納付者ハ地役人ナルヲ以テ維新後之ヲ變シタルナリ納期ハ毎年五月三十一日トスレトモ其實其年九月十月若クハ十一月ノ交ニ至ラサレハ納入セス而シテ島内ニ於ケル實況ハ毎年二三月ノ交ニ至レハ島役所ハ各村ニ於テ織立ツヘキ反布ヲ定メ盛付書ヲ製シ之ヲ各村ニ廻達シ納稅告知書ノ著否ヲ問ハサルコト維新以前ニ同シ次ニ村役場ニ於テハ盛付書ノ交付ヲ受ケ各人ヨリ反布原絲ノ徵收ヲナスコト從來ノ例ナリシカ近頃ニ至テハ盛付書ノ發付方遲延スルコトアルノミナラス租額竝ニ反布ノ種類數量一定セルヲ以テ盛付ノ達示ヲ待ツノ必要ナシ故ニ一般ニ製絲ヲ終リタル時ハ全ク之ヲ了ラサルモ納付ニ支障ナキ時ニ至レハ徵收命令書ヲ發ス之ヲ切紙ト稱ス其他控織ノ制度ヲ存スルコト以前ニ同シ而シテ各村ニ於テ織立ヲ了リタルトキハ之ヲ村役場ニ保管シ島役所ヨリ發送船便ノ通知ヲ受ケタルトキ送狀ヲ付シテ島役所ニ送付ス島役所ハ受領ノ上證書ヲ交付スルモノトス次ニ島役所ヨリ政府ヘ納付スルニハ以前ハ島村役人ノ内必ス特ニ上京シテ之カ手續ヲナセシカ其後漸次便宜ノ方法ヲ用ユルニ至リ商人ニ託シ又ハ東京在住者ニ依頼スルヲ例トス而シテ其納期ハ村役場ニ於テハ第二年ノ十月若クハ十一月頃ニ至リ其年ニ徵收シタル絲ヲ以テ織立ノ準備ニ著手シ翌年即チ第三年ノ三月四月頃迄ニ之ヲ終ルモノニシテ第三年ニ島



役所へ納付シ島役所ハ其年之ヲ政府ニ納付スルモノトス次ニ地役人ヨリ納付書ヲ添へ税品ノ段布ヲ納付シ來ルトキハ稅務署ニ於テハ其縞柄ヲ備付ノ反布縞本ニ對照シテ後之ヲ領收シ證書ヲ交付ス而シテ税品ハ收納時日ヲ期シ競賣入札ニ付シテ公賣シ其代金ヲ田租畑租及雜地稅ニ區別シ現金ハ普通ノ手續ニヨリ金庫へ拂込ムモノトス  
其他代金ヲ以テ納付スヘキ地租アリ則チ黃紬一段未滿ノ端數即チ黃紬五分三厘七毛ニ對スル金五拾參錢七厘及口紬三十一反三厘四毛ニ對スル參拾壹圓參錢四厘ノ二種ニシテ稅務署ハ之ニ對スル告知書ヲ製シ税品段布ノ告知書ト共ニ發布スルモノトス







附錄 本邦地租收納表

年度	田	租	畑	租	郡村宅地租	市街宅地租	雜地租	北海道地租	延納年賦	合計	地券證印稅
一 期										110,090,173.00	
二 期										3,355,963.94	
三 期										8,218,969.00	
四 期										11,340,983.57	
五 期										20,051,917.07	
六 期										60,604,242.31	
七 期										59,421,228.74	
八 期										67,717,946.85	
八 年度										50,335,327.70	
九 年度										42,944,135.33	
十 年度										39,345,747.69	
一 年度										40,218,177.81	
二 年度										41,889,695.64	
三 年度										42,077,558.19	
四 年度										43,009,266.27	
五 年度										42,984,343.59	
六 年度										43,056,217.53	
七 年度										43,117,530.93	
八 年度										43,189,084.93	
九 年度										43,251,233.59	
十 年度										43,313,382.25	
十一 年度										43,375,530.91	
十二 年度										43,437,679.57	
十三 年度										43,500,000.00	
十四 年度										43,562,320.43	
十五 年度										43,624,640.86	
十六 年度										43,686,961.29	
十七 年度										43,749,281.72	
十八 年度										43,811,602.15	
十九 年度										43,873,922.58	
十 年度										43,936,243.01	
十一 年度										43,998,563.44	
十二 年度										44,060,883.87	
十三 年度										44,123,204.30	
十四 年度										44,185,524.73	
十五 年度										44,247,845.16	
十六 年度										44,310,165.59	
十七 年度										44,372,486.02	
十八 年度										44,434,806.45	
十九 年度										44,497,126.88	
十 年度										44,559,447.31	
十一 年度										44,621,767.74	
十二 年度										44,684,088.17	
十三 年度										44,746,408.60	
十四 年度										44,808,729.03	
十五 年度										44,871,049.46	
十六 年度										44,933,369.89	
十七 年度										44,995,690.32	
十八 年度										45,058,010.75	
十九 年度										45,120,331.18	
十 年度										45,182,651.61	
十一 年度										45,244,972.04	
十二 年度										45,307,292.47	
十三 年度										45,369,612.90	
十四 年度										45,431,933.33	
十五 年度										45,494,253.76	
十六 年度										45,556,574.19	
十七 年度										45,618,894.62	
十八 年度										45,681,215.05	
十九 年度										45,743,535.48	
十 年度										45,805,855.91	
十一 年度										45,868,176.34	
十二 年度										45,930,496.77	
十三 年度										45,992,817.20	
十四 年度										46,055,137.63	
十五 年度										46,117,458.06	
十六 年度										46,179,778.49	
十七 年度										46,242,098.92	
十八 年度										46,304,419.35	
十九 年度										46,366,739.78	
十 年度										46,429,060.21	
十一 年度										46,491,380.64	
十二 年度										46,553,701.07	
十三 年度										46,616,021.50	
十四 年度										46,678,341.93	
十五 年度										46,740,662.36	
十六 年度										46,802,982.79	
十七 年度										46,865,303.22	
十八 年度										46,927,623.65	
十九 年度										46,990,000.00	
十 年度										47,052,376.43	
十一 年度										47,114,752.86	
十二 年度										47,177,129.29	
十三 年度										47,239,505.72	
十四 年度										47,301,882.15	
十五 年度										47,364,258.58	
十六 年度										47,426,635.01	
十七 年度										47,489,011.44	
十八 年度										47,551,387.87	
十九 年度										47,613,764.30	
十 年度										47,676,140.73	
十一 年度										47,738,517.16	
十二 年度										47,800,893.59	
十三 年度										47,863,270.02	
十四 年度										47,925,646.45	
十五 年度										47,988,022.88	
十六 年度										48,050,399.31	
十七 年度										48,112,775.74	
十八 年度										48,175,152.17	
十九 年度										48,237,528.60	
十 年度										48,300,000.00	
十一 年度										48,362,376.43	
十二 年度										48,424,752.86	
十三 年度										48,487,129.29	
十四 年度										48,549,505.72	
十五 年度										48,611,882.15	
十六 年度										48,674,258.58	
十七 年度										48,736,635.01	
十八 年度										48,799,011.44	
十九 年度										48,861,387.87	
十 年度										48,923,764.30	
十一 年度										48,986,140.73	
十二 年度										49,048,517.16	
十三 年度										49,110,893.59	
十四 年度										49,173,270.02	
十五 年度										49,235,646.45	
十六 年度										49,298,022.88	
十七 年度										49,360,399.31	
十八 年度										49,422,775.74	
十九 年度										49,485,152.17	
十 年度										49,547,528.60	
十一 年度										49,610,000.00	
十二 年度										49,672,376.43	
十三 年度										49,734,752.86	
十四 年度										49,797,129.29	
十五 年度										49,859,505.72	
十六 年度										49,921,882.15	
十七 年度										49,984,258.58	
十八 年度										50,046,635.01	
十九 年度										50,109,011.44	
十 年度										50,171,387.87	
十一 年度										50,233,764.30	
十二 年度										50,296,140.73	
十三 年度										50,358,517.16	
十四 年度										50,420,893.59	
十五 年度										50,483,270.02	
十六 年度										50,545,646.45	
十七 年度										50,608,022.88	
十八 年度										50,670,399.31	
十九 年度										50,732,775.74	
十 年度										50,795,152.17	
十一 年度										50,857,528.60	
十二 年度										50,920,000.00	
十三 年度											



明治財政史第五卷終

第六編 租稅 第一章 內國稅



明治三十七年十一月七日印刷  
明治三十七年十一月十日發刊

明治財政史第五卷附

正價一部十五冊  
金參拾五圓

著作者

明治財政史編纂會

右代表者

阪谷芳郎  
東京市小石川區原町百二十六番地

發行者

丸善株式會社  
東京市日本橋區通三丁目十四番地

右代表者  
專務取締役

小柳津要人

印刷者

高橋金四郎  
東京市日本橋區兜町二番地

印刷所

東京印刷株式會社  
東京市日本橋區兜町二番地

不許  
複製

發行所

東京市日本橋區  
通三丁目  
大阪市中心齋橋筋  
博勞町四丁目

丸善株式會社  
丸善株式會社支店



















